

令和3年産米の福井県および地域協議会別の生産数量の目安について

令和2年12月15日
福井県農業再生協議会

1 全国の需給情報

令和2年産生産数量の目安 (t)	令和3年産生産数量の目安 (t)	R3-R2 (t)
717万 (実収723万)	693万	▲24万 (実収ベース▲30万)

2 福井県産米の生産数量の目安の考え方

- ・国が示した令和3年産の全国の需給見通しを参考にするとともに、福井県産米の需要見込みに基づき、福井県産米の生産数量の目安を設定する。
- ・国の支援策等を最大限に活用し、生産者の所得確保を図りながら、備蓄米等の水田活用米穀や飼料用米、大豆、そば、園芸品目への転換を進める。
- ・令和3、4年産主食用米の生産、販売拡大につながるよう積極的に販路を開拓していく。

令和2年産 生産数量の目安		令和3年産 生産数量の目安		R3-R2	
数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)
119,780	23,079	118,109	22,757	▲1,671	▲322

3 地域協議会別の生産数量の目安の設定方針

(1) 基本的な考え方

令和3年産米の地域別協議会の生産数量の目安は、平成28年産米の市町別生産数量目標のシェア（固定）に基づき設定する。

(2) 具体的な算定方法

①市町別の生産数量の目安

【県の生産数量の目安】 × 【平成28年産米の市町別生産数量目安目標のシェア】

②面積換算値

地域協議会の面積換算値については、北陸農政局福井支局が毎年公表する当該市町の10a当たり収量（平成24年～令和元年の最高最低を除いた6ヵ年平均）を基に算定する。